

今年も『秋の味覚』庄内柿を

よろしくお願い致します！



今年は豪雨、猛暑、新型コロナウイルスと様々な困難な状況がやって来る年ですが、幸いにも農作業自体は例年と変わらないペースで行うことが出来ており、有り難みを感じながら作業を行っています。皆さんがそれぞれの立場で頑張っておられると思いますので、心身ともに健やかに過ごされること、そして現状がより良くなるように祈っています。

庄内柿の生育状況は、5月下旬の猛烈な東風で葉がかなり傷んだり落ちたりして影響を心配しましたが、その後は順調に枝葉を伸ばし、蕾の数も十分に着け、今後に期待をしながら摘蕾作業を行いました。しかし、その後の7月の長雨の影響で生理落果という柿の樹が着果数を調整する作用が働き、実がだいぶ落ちてしまいました。実の数から判断すると今年は減収が予想されます。一つひとつの実が肥大して減少分をカバーしてくれることを期待しています。栽培管理に関しては、今年も減農薬無化学肥料栽培を継続して今年で32年目、私が栽培責任者になって2年目になりました。農薬は慣行的な成分数の5割まで削減しており、現在のところ病気や虫の目立った被害は出ていません。肥料は全て有機質肥料を施用しており、さらに土作りや糖度向上を目的として堆肥を用い、今年も甘みの強い庄内柿を目指しています。

庄内柿の特徴は、種が無く食べやすいことと、ジュワツと溢れる果汁の多さです。硬さの好みは様々ですが、ラ・フランスのようにとろけるような滑らかさで果汁たっぷりの時に食べると、2、3個はあっという間に食べられます。また、硬いものはそのまま食べるのはもちろん、サラダや和え物に使うと彩りも秋らしさが増します。安全に配慮して栽培した甘くてジューシーな庄内柿で柿の魅力をぜひ再発見していただきたいです。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

栽培方法

化学肥料：不使用 化学合成農薬：5割以上削減

2020年9月5日

農事組合法人 庄内協同ファーム

柿生産者 對馬啓太



【2019年圃場巡回時 柿生産者のみなさん】